

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3146289号
(U3146289)

(45) 発行日 平成20年11月13日 (2008.11.13)

(24) 登録日 平成20年10月22日 (2008.10.22)

(51) Int.Cl.

A 4 1 D 19/01 (2006.01)

F 1

A 4 1 D 19/01

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2008-1558 (U2008-1558)
(22) 出願日 平成20年3月17日 (2008.3.17)(73) 実用新案権者 306001541
物井 嘉代子
大阪府泉佐野市湊3丁目7番12号
(72) 考案者 物井 嘉代子
大阪府泉佐野市湊3丁目7番12号

(54) 【考案の名称】 ミトン又は手袋

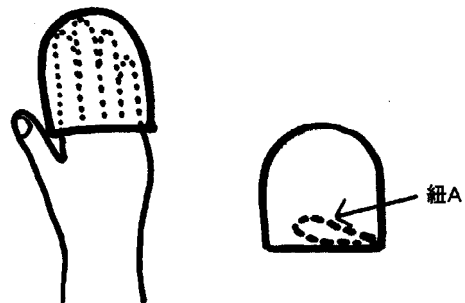
(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 沐浴、介護使用中に身体を擦っても、ずれなく、抜けにくくし、親指と手の平を袋状から出し開放する形状を特徴とするミトン又は手袋を提供する。

【解決手段】 外側の袋状の形状、又は沐浴、介護使用において人の手を入れ、親指を含まない4指を袋状内部に入れ、親指と手の平を袋状から出し開放する形状を特徴とする。また、袋状の内部に、使用中にずれなく、抜けにくくする為の紐をつけ、親指を含まない4指を通す紐、又は使用後に吊るすことも併用できる紐を特徴とする。生地は、天然素材、和紙、麻、綿、竹、とうもろこし等、または化学繊維で織られ抗菌性を有している。

。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

外側の袋状の形状、又は沐浴、介護使用において人の手を入れ、親指を含まない 4 指を袋状内部に入れ、親指と手の平を袋状から出し開放する形状を特徴とするミトン又は手袋。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の袋状の内部に、使用中ずれなく、抜けにくくする為の紐をつけ、親指を含まない 4 指を通す紐、又は使用後に吊るすことも併用できる紐を特徴とするミトン又は手袋。

【請求項 3】

前記生地は、天然素材、和紙、麻、綿、竹、とうもろこし等、または化学繊維で織られ、抗菌性を有していることを特徴とする請求項 1 に記載のミトン又は手袋。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

この考案は、沐浴、介護使用において人の手を入れて用いるミトン又は手袋の形状に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来のミトン又は手袋などは、図 2 に示すように、親指が袋状の内部に入り手首から指先まで覆う為、人の手の大きさ、親指の開き加減に対応することが出来ず、体を擦ると使用中に、ミトンの中でミトンと手がずれ不快感があった。

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

しかしながら、以上の技術によれば、人によって異なる手の大きさ、赤ちゃんを沐浴する際や物を持つ時には窮屈で、身体を擦ると使用中に、ミトンの中でミトンと手がずれ不快感があった。特に赤ちゃんの沐浴では、石鹸使用の際にすべるにもかかわらず、親指が自由に使えなかった。そこで、この考案は、沐浴、介護使用中に身体を擦っても、ずれなく、抜けにくくし、親指と手の平を袋状から出し開放する形状を特徴とするミトン又は手袋を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

以上の課題を解決するために、第一考案は、外側の袋状の形状、又は沐浴、介護使用において人の手を入れ、親指を含まない 4 指を袋状内部に入れ、親指と手の平を袋状から出し開放する形状を特徴とするミトン又は手袋。第二考案は、袋状の内部に、使用中にずれなく、抜けにくくする為の紐をつけ、親指を含まない 4 指を通す紐、又は使用後に吊るすことも併用できる紐を特徴とするミトン又は手袋。第三考案は、生地は、天然素材、和紙、麻、綿、竹、とうもろこし等、または化学繊維で織られ抗菌性を有していることを特徴とする請求項 1 に記載のミトン又は手袋。

【考案の効果】**【0005】**

第一の考案、第二の考案、第三の考案によれば、沐浴、介護使用の際にミトン又は手袋は抜けにくく、親指と手の平が開放されることにより、安全に使用することができる。特に沐浴では、親指と手の平の肌と肌が直接接触することにより、赤ちゃんや介護される人にも安心感が得られます。ミトン又は手袋の生地は、天然素材においては、和紙の抗菌性、優れた吸水性効果等の素材特徴の長所を生かすと、石鹸等を使用しないで皮脂のよごれを落とすことが出来るので、地球環境の保護にもなります。

【考案を実施するための最良の形態】**【0006】**

この考案の一実施形態を、図 1 に示す。袋状の内部に指を通す紐 A

10

20

30

40

50

【0007】

「実施形態の効果」

この実施形態によれば、親指と手の平を袋状から出し開放することができ、親指を含まない4指を入れた袋で身体を洗うことができる。又、袋状の内部に指を通す紐Aにより、ミトンと親指を含まない4指は、ずれなく、抜けにくくなります。したがって手にはめたままで、赤ちゃんや介護される人を抱いたり、洗ったりすることが安易になります。よって、赤ちゃんや介護される人には安心感が得られ、使用する人には、物を持つ時にもすべらず安定感が得られます。

【0008】

「他の実施形態」

図2の実施形態では、袋状の内部は一体であったが、他の実施形態では、4指を分けるための縫合線が複数入り、ミトン又は手袋の外観を変更したものでもよい。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】この考案の外観図

【図2】従来品の外観図

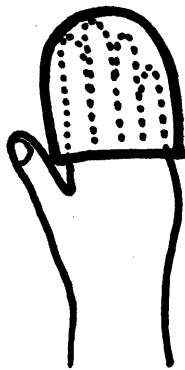
【符号の説明】

【0010】

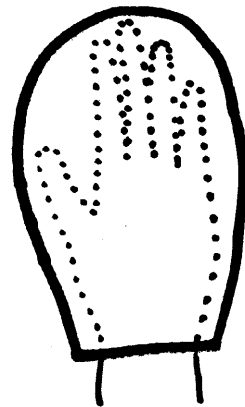
A 袋状内部の親指を含まない4指を通す紐

10

【図1】



【図2】



【手続補正書】

【提出日】平成20年7月5日(2008.7.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】実用新案登録請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

外側は袋状の形状で、沐浴、介護使用において人の手を入れ、親指を含まない 4 指を袋状内部に入れ、親指と手の平を袋状から出し開放する形状を特徴とするミトン又は手袋。

【請求項 3】

前記生地は、天然素材、和紙、麻、綿、竹、とうもろこし、または化学繊維で織られ、抗菌性を有していることを特徴とする請求項 1 記載のミトン又は手袋。

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】手続補正書

【補正対象項目名】手続補正 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

外側は袋状の形状で、沐浴、介護使用において人の手を入れ、親指を含まない 4 指を袋状内部に入れ、親指と手の平を袋状から出し開放する形状を特徴とするミトン又は手袋。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の袋状の内部に、使用中ずれなく、抜けにくくする為の紐をつけ、親指を含まない 4 指を通す紐、又は使用後に吊るすことも併用できる紐を特徴とするミトン又は手袋。

【請求項 3】

前記生地は、天然素材、和紙、麻、綿、竹、とうもろこし、または化学繊維で織られ、抗菌性を有していることを特徴とする請求項 1 記載のミトン又は手袋。